

J-2 : 国際化推進

開催日時・会場 9月17日(木曜日) 13:30 - 15:00 会場B

若手外国人研究者に活躍してもらうには

国際化が叫ばれる中、日本の大学・研究機関に着任する外国人研究者の数は着実に増加しています。海外から優秀な人材を獲得し、研究・生活の環境を整え、良い成果を出してもらうよう支援することは、ますます重要になってきています。中でも、若手外国人研究者は、研究者として駆け出しの状態であるだけでなく、日本の習慣になじんでいない場合も多く、二重の困難に直面していると言えます。

2018年のRA協議会年次大会では、国際セッション「クロスカルチャー奮闘記ー簡単じゃない外国人研究者支援ー」において、外国人研究者支援における、異文化理解の重要性が議論されています。本セッションでは、困難を乗り越えて活躍してもらうためには、どのような支援が必要か、研究者のリクルーティングから、研究環境のサポート、外部資金獲得、成果発表に至るまで、幅広い観点から議論したいと考えています。

セッション前半では、2件の講演を行います。1件目のご講演では、沖縄科学技術大学院大学の伊藤徹氏に若手教員のリクルーティングについてお話しいただきます。2件目のご講演では、大阪大学の大屋知子氏に、外国人研究者向けに行っているファカルティ・デベロップメント研修を中心にお話しいただきます。

セッション後半では、ご講演の内容を踏まえて、若手外国人研究者支援のあり方についてディスカッションを行います。奈良先端科学技術大学院大学の三宅雅人氏も加わり、さらにご参加されている皆様と共に議論を深めたく存じます。

セッション担当者

中塚 祐子:奈良先端科学技術大学院大学
研究推進機構 研究推進部門
URA(スタッフ)



京都大学大学院工学研究科修了。博士(工学)。東京大学生産技術研究所助教として、ガラス材料の磁気特性に関する研究に従事。2019年4月より現職にて、研究IR業務、プレアワード業務に従事している。

登壇者

伊藤 徹: 沖縄科学技術大学院大学 教員担当学監オフィス
アカデミックディベロップメントセクション
マネージャー



外資系銀行・証券など約10年の金融業務を経て、2009年よりOISTIにて勤務を開始。
2011年学校法人設立までは主に事務職員の採用業務・赴任業務を担当。
2014年より現職、教員・研究ユニット人事担当として国内外からの教員および研究員の採用・雇用契約を主に担当。所属する教員担当学監オフィスでは、教員の採用・契約・評価・FD・教授会の運営などを行う。

大屋 知子: 大阪大学
経営企画オフィス URA部門
リサーチ・マネージャー／特任准教授



日本学術振興会特別研究員、大阪大学微生物病研究所研究員等として、DNA複製・組換えに関する研究に従事。その後、大阪大学産学連携推進本部、国立循環器病研究センターにて、ライフサイエンス分野における産学連携等の業務に携わる。2014年1月より現職にて、研究支援および大学の経営支援を行っている。博士(理学)・知的財産修士(専門職)取得。一級知的財産管理技能士(特許・コンテンツ・ブランド専門業務)。

三宅 雅人: 奈良先端科学技術大学院大学
研究推進機構
准教授 国際共同研究担当ディレクター



英国ケンブリッジ大学教員、国内の半導体装置メーカーから外資系半導体装置メーカーのテクニカルマーケティングマネージャー、新規技術分野推進室・室長を経て、2014年1月にURAとして本学に着任。その後、研究推進機構の准教授に、現在は国際共同研究担当ディレクターとして、国際共同研究推進並びに産官学連携・地域連携業務を行っており、2020年4月より戦略企画本部IRオフィスの兼務となり、大学の戦略立案に携わっている。